

北宇和高校全国大会出場!

第56回日本学校農業クラブ全国大会岐阜大会プロジェクト発表の部出場

北宇和高等学校生産食品科草花専攻部門の研究が、愛媛県大会および四国大会で最優秀となり、岐阜県で開催された全国大会に出場しました。同校の研究は、過去にも県大会において何度も優秀な成績を収めていましたが、全国大会出場は7年ぶりです。以下、研究の内容について紹介します。

私たちが農業を変える

～竹炭浄化水を利用したシクラメン栽培の研究～

愛媛県立北宇和高等学校 生産食品科 草花専攻部門

鬼北地方では、ため池や河川の水質悪化により、花や作物の品質が低下しています。農業用水の水質分析を実施すると、農薬や化学肥料の成分であるリン酸、窒素の数値が高く、農業による水質汚染が原因ではないかと考えました。このような状況の中、私たち草花専攻班は、環境を守るため農業を変えていこうと、3年前より竹炭の吸着効果による水質浄化の研究に取り組んでいます。そこで、私たちが開発したのが、竹炭浄化水プールベンチです。竹炭浄化水プールベンチは、循環式を採用しているため、汚染水を川や地下に垂れ流す心配がなく、竹炭の水質浄化作用が一層効果的です。私たちは農業による水質汚染対策の観点から、生産農家に向けた竹炭浄化水プールベンチの普及は、重要なテーマであると結論付けました。そして、北海道大学院工学研究科や愛媛大学農学研究科と共に竹炭浄化水による植物体の生育促進メカニズムを立証し、県内外のシクラメン農家に竹炭浄化水プールベンチを普及しました。活動内容は、愛媛県花卉総合指導センターでの研究報告会や愛媛県産業文化まつりで展示し、多くの方々に紹介しました。また、様々な場所で研究発表を行い、専門家の方々にも高い評価をいただきました。さらに、昨年に続き、農文協の「現代農業誌2005年7月号」に研究成果が掲載され、私たちの活動が全国へと発信されました。加えて、県内の環境保護活動を顕彰する「あいテレビ三浦保環境賞」において、奨励賞を受賞することができました。美しい鬼北の環境がいつまでも残ることを願い、農業を変えようと立ち上がった私たちの瞳は情熱と希望に満ちあふれています。

全国大会に参加して…

全国大会を終え、プロジェクト活動は私を大きく成長させてくれ、自信を与えてくれました。努力すること、継続すること、協力すること、何かに精一杯取り組む姿勢など、本当にたくさんのことを学びました。また、強く感じるのは、支えてくれた方々の力です。私たちが全国へ出場できたのはたくさんの方の支えや協力があったからだとも感謝しています。これからも後輩たちに環境保全への取り組みを続けていって欲しいと思います。また、多くの人に環境に対しての意識を深めていって欲しいと願います。

